



会報 JAMT

JAPANESE ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所
 社団法人日本臨床衛生検査技師会
 発行責任者 高田鉄也
 編集責任者 高田鉄也
 金子健史
 〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号
 TEL (03) 3768-4722 FAX (03) 3768-6722
 ホームページ <http://www.jamt.or.jp>

新執行部誕生！

平成 22 年 3 月 27 日(土)に開催された、社団法人日本臨床衛生検査技師会平成 21 年度第 2 回定期総会において、新執行部が誕生した。新執行部は、会長推薦理事を含み 35 名体制となり、同会初めての大型執行部となる。先の選挙戦における会長はじめ副会長の立候補趣旨には、新しい法人法による公益認定をはじめとする長中期的展望にたった事業方針が盛り込まれており、今後の執行部の動きが注目される。

臨床検査…医療文化としての伝承を！

会長理事 高田 鉄也

生物界は、人をはじめ、動植物から微生物まで多種多様ですが、その異なる中に、我々は共通なものを認めます。

生物を無機物と区別するものであり、動物や植物を共通の概念、すなわち「生」に含ませるものであり、それを「生命」と呼びます。その生命の本質は何にあるか？それを求めるには生命の起源が重要な問題となります。

我々の住む地球の年齢を、前惑星雲の形成を起源とすると実に 50 億年以上になります。やがて、最古の海に誕生した“生命”は、生物の最終的進化とも云える人間を生み現代に続きます。

人間は生物学的において本質的に変わってはいませんが、周囲の自然界に権力＝人はそう呼ぶ＝を獲得しました。それは社会的な進化の結果であり、生物進化ではありません。人間の進歩は個体の生物進化ではなく社会的生活の進歩により形成されるものです。人間社会は、生物学的進化の止まった「人間」が「人」の生命を操るといふ暴走的な変貌を遂げました。最古の海に誕生した“生命”から見ると、生命の進化を人間で止めた意図が失われることに繋がるものかもしれません。

「地球上の生きとし生けるものは死をもって繁殖の代償を得る。」これは、人間が創造される前の「神」の言葉と言われます。

生命に死が訪れる様になったのは生命誕生から 10 数億年経過してからであり、細菌の様な無性生殖生物は分裂を繰り返す「老化」もない不死の世界です。同じ単細胞生物でも、細菌の様に細胞の中に DNA を裸で持つ原核生物と異なり、真核生物は核やミトコンドリアを有し、その中に DNA を持ちます。彼らは、同様に分裂により増殖するが真核生物のある種は「接合」を行い、遺伝子を交換します。これにより老化を止め、若返る訳であります。生命の再生と永久の生命は存在しないという神話を科学が解明した訳であり、遺伝子により運命づけられていた「死」のはじめであり、有性生殖生物にのみ訪れる必然の結果と言えます。

このように、生物の生活内容は、種の存在を維持し発展させることにあると云えますが、生活のために必要とするものを如何にして獲得し、自己そして子孫を創る問題は重要な課題です。それが生物生産=Biological production=であります。生物生産の終末は個体数や量がどの様に増加したかで表現されることが多く、その測度のひとつとして重要なものは、生産速度と言えます。

鮭は秋～冬に産卵し、春に孵化し遊泳生活に入り、殆どのものは海に入りますが、一部は 1 年を経過した後に降海します。更に、

帰るのを待ちます。これらはプランクトンを主とした餌をとりませんが、一般にえさの量が増加すれば生存率は高くなります。しかし、成長効率を加味すると「無駄遣い」という問題が生じ、これらの生産問題を考える時、種自体の持つ発育段階が明らかにされなければなりません。生物が進歩を遂げる場合生活様式の相違が問題とされますが、生活様式が変化する必然性は追求されてはいません。発育に伴う変化と共に、固有の生活周期=cycle of life=を持ちますが、それも環境の構造により大きく影響されます。この様な生物の生活内容は、いかに進化を遂げても基本的にはその習性は大きく変わる事は無いとされ、単細胞から魚類、昆虫類、哺乳類に到る「生命」に共通する課題と言えます。人間医療においても、すでに生命倫理を論じる段階にありますが、これら生物の基本的生活を基本として考える事が必要です。

20 世紀は「激動の世紀」、一方では「科学技術の世紀」と云われ、人間の科学は宇宙の果てからミクロの世界、遺伝子まで解明しました。これらは人の生活は勿論、国のあり方をも変える力を持つ結果となりました。その結果、前世紀に破壊したものの、失ったものを新世紀に取り戻そうとした動きが見られます。それは、本来

の人としての人間再考と考えます。農業中心の社会から工業社会へ、そして、情報型の社会へと大きく変貌を遂げ、より広い世界観でとらえなければ確実に取り残され、異なる文化、宗教、人生観等を互いに尊重し共存しなげなければならない多元的な時代となりました。その結果、ひとつの文化で統制することは不可能な時代と言われます。医学の世界においては、脳死や体外受精等生命倫理に関する問題と真剣に向き合う時代となり、技術は止まるところを無視した速度で進んでいます。このような時代であるがゆえに、古き良き時代を踏襲する日本の感覚(日本の文化と言った方が正しいかもしれない)も貴重なものであります。

医学(医療)を単に生命科学として論じるのではなく、文化、宗教、人生観等を含めた哲学的思考、すなわち「人間」として、「生命」として考えなければなりません。我々は、医療に身を投じた検査技師です。医療への貢献を基盤として、後に続く二世達に伝えていくことも大きな使命のひとつです。

医療を通じ、「いつでも、どこでも臨床検査」を提唱・普及し、「世の中を動かす「検査技師」として、更に、「臨床検査を医療文化として伝承」するよう、「成熟した検査技師を育成」する機能団体としての組織を構築します。

…具体的戦略構想は、次号以下でお話します…

臨床検査…文化としての伝承
 =いつでも、どこでも臨床検査=

副会長就任にあたって ①**副会長理事 才藤 純一**

この度、高田新会長のご英断により、副会長として日臨技に参画する事になりました。新会長と虚心坦懐に話し日臨技の業務執行は「鬼になってくれ」との要望ですので、私も胆力をもって臨む覚悟であります。

優先事項は基盤となる組織体制の新構築です。私が日臨技に参画したのは 14 年前で、当時の日臨技は研修所設立構想が燻っていました。日臨技会員管理もままならず、臨床検査基準値の標準化事業など具体化構想もなく、法改正も活動はしていたが行き詰まりの状況の中での船出でした。この研修所構想から日臨技会館設立への切り替え、また IT 化による JAMTIS の立ち上げ、法改正も議員連盟の設置による法改正への脱皮など、役員が共有する目的意識を持ち到達に向け夢を持って活動していた感があります。このように一人ひとりの意識改革により、基盤となる組織構築が可能になります。

昨今、情報化時代の到来により急速に進む世の移り変わりに数年来翻弄されている感があります。聖域なき構造制度改革の中で 2000 年から 2008 年にわたって医療制度改革が行われ、医療の崩壊が叫ばれるようになりました。また、バブルが崩壊、アメリカでのサブプライムローンから端を発した金融危機、世界でも類を見ない急速な少子高齢化による医療費の増加等を背景に医療の質の向上と効率化、医療費の適正化および医療格差の解消等が課題となっています。

加えて、政権交代があり医療政策も変貌しています。平成 18 年に施行された新公益法人法による執行体制の方向転換の状況も出ております。このように技師会を取り巻く環境はいままで類を見ないほど厳しい状況であります。だからこそ、今、日臨技は大きく変わろうとしています。変わらねばならないのです。

まずは意識改革、マンネリ化した沈滞ムードからの脱却、人のためになる良い仕事の追求、人の役に立つということは何なのか、この社会貢献を実現に向けて活動を推進していく事が重要です。また、地区技師会や関連諸団体との融和を図り、技師会が創立以来目標としてきた多くの課題を、関連団体と渉外活動を通して実践してきた経緯を再度分析し、その検証に基づき、次のステップを構築することが重要です。

医療施設に於ける臨床検査室や臨床検査技師の存在が社会に与えてきた影響を考え、将来へ向けた有能な臨床検査技師育成のために関連諸団体との情報交換をもとに構築すべきと考えます。

振り返って見ると、臨床検査技師の認知は、この 50 有余年の技師会活動の中でどのくらい変化したのでしょうか。本当に世間に向けての啓発活動やアピールを現実として実施できてきたのでしょうか。技師会の執行部として、原点に戻り再構築のための事業展開が必要であると考えています。それには、執行部のみならず会員各位の意識改革に基づく真剣な応援が必要です。

また、技師会会員相互の信頼関係の構築と構成員の加入増加による組織を支えるハード面やソフト面の早急な再構築が必要になってきます。臨床検査技師にとり魅力ある技師会となることが最も重要課題であり、多くの考えを持った技師が集まり、臨床検査技師の理想の姿について討論する場を作ることが基本です。

技師会執行部として“臨床検査道”、つまり社会貢献を根ざす医療従事者としての道徳観念を含めた理想像を真剣に考え、会員の和の中よりニューリーダーの育成、将来に向けた基本方針や事業展開を推進することです。このような課題に対する実践的かつ具体的な事業展開をすることをお約束します。

重要なことは、過去を学び、過去にとらわれることなく将来に向けての施策を、固定概念より脱却した事業展開を推進し、結果、会員相互の人間関係の構築ができれば本望です。

私は、いま貪欲に多くの種を播きたいのです。なぜなら、自然は播いたものしか刈り取ることができないのです。そこに近道はないのです。

副会長就任にあたって ②**副会長理事 米坂 知昭**

平成 22・23 年度の副会長を務めさせて頂きます米坂です。宜しくお願ひ申し上げます。

2 年間は長いようで短いと常々実感しておりましたので、気を引き締め心して責務を全うするよう頑張る所存でございます。

今、検査技師に必要なことは、当たりまえで重要な「教育」です。その中身は卒前卒後の臨床検査技師教育、検査研究部門、高度教育、海外研修、医学検査学会等が含まれます。選挙の際にも掲載致しましたが、改めて抱負として掲載させて頂きます。

検査研究部門に関する人員数や委嘱業務内容等の問題点を明確にし、部門構成を含めた見直しや地区推薦部門員による再編を図り、現状に即した体制を構築する必要性を感じています。

日臨技の各研究班が解体されると同時に新たな検査研究部門が構築され効果は得られましたが、いまだ多くの問題があります。特に部門員の絶対数が少ないことから、研修事業内容や各都道府県への依頼の仕方等を含め連携の取りにくい状況となっております。整備すべきポイントは、「検査研究部門」は研修会開催部門ではありません。日臨技の直轄研究部門として役割を果たす必要があります。

日臨技の会員は各都道府県の会員であり、時として日臨技会員としての意識の乖離が生じることもあります。これはこれまでの組織体制と運営に起因する部分が多く、会員の声が反映され計画的で自主性の高い研修会を実施することで意識の高揚を図れるような仕組み作りが肝要と考えます。

卒前・卒後教育に関する関係方面との協議等を含め、平成 7 年に設置された臨床検査技師教育制度検討委員会を更に発展させた新たな会合、若しくは協議会を設立させ文部科学省・厚生労働省等と臨床検査技師育成ならびに生涯学習指導に関する方向性を検討することも必要でしょう。

次世代を担う臨床検査技師を目指す若者に対して教育施設との協議は重要な役割があると考えます。これまでも総会において学校教育に関し指定校・認定校に関する意見が出されていますが日臨技として未だ何の対応もできていません。医学の一部分として発展してきた臨床検査ですが、将来、臨床検査学としての学問体系に発展できれば、医学部や看護学部と共に臨床検査学部も夢ではないと考えます。

日臨技は職能団体として行政との協議を中心に進めるべきであり、その体制を組織化することが必要です。第 3 次マスタープランには既に盛り込まれておりましたが進展していないのが実情です。見直すべき点は修正し即座に実行すべき点は対応すべきと考えます。

会員各自の研修をサポートするため、e-ラーニングによる研修環境を 3 段階位のレベルで充実させることで研修機会の均等性を誇り、より利用価値の高いものへと発展させる。

医療系の他団体やアカデミックな大学等でもすでに実施しているように e-ラーニングは高度情報化社会において重要なツールです。大都市圏での研修に各地の会員が毎回参加することは実際に不可能であり、これらの是正を図ることが必要です。各部門における研修内容や特別企画の講演会等のライブラリーを整備するとともにアクセス環境の整備を推進し、全国会員の研修の機会均等を図る必要があると考えます。

以上、2 年間の任期中に全てをやり遂げることは困難ですが、次世代への継承により達成できることも多いと思います。

スローガンや総論だけの美辞麗句を並べれば、文章は美しくできます。具体的な政策・施策、各論にまで踏み込むと読み辛い文章になると言われています。

「東大からの人／東大までの人」という言辭を持ち出すまでもなく、「事を具現するために副会長に名乗りを上げた」という精神を忘れずに精進する所存です。

副会長就任にあたって ③

副会長理事 小沼 利光

平成22年から2年間、副会長を仰せつかりました。

私は日臨技で小崎会長の下、4年間副会長を務めさせて頂き、また都臨技でも4年間副会長の役に就いておりました。

この長い経験から、如何に会長をサポートしながら会務を行うか、と言った副会長の役割を良く理解していますので、日臨技の中で必ずこの職責を果たせると思っています。

私が立候補時に掲げた公約の「法人格の方向付け」は日臨技の大切な針路を決定しますので、高田新会長の考えを伺いながら慎重に進めて参ります。

また、もう一つの「他の医療職能団体との交流」は業務制限の存在で、それぞれ孤立しがちな医療技術者団体も、一部時代錯誤的な医療法を改定出来ずにいるなど、国家資格の枠を取り払ってみれば、案外と同様な問題を抱えている物です。

他団体に、この様な共通する角度からアプローチし、連帯意識を持ち一丸となれば、法改正にも大きな推進力になると期待出来ます。さらに、私が特に力を入れたい事項に「会員としての有用性を実感出来る技師会」作りがあります。職能団体として見る時、構成人数は最も大きな力となります。法改正や公的事業を行う上で数は大変重要です。

しかし、その為だけに入会し活動の礎となることでは入会することの動機付けにはなりません。会員継続もまた然りです。会員の大半が技師会に学術的なサポートを期待していると思いますが、多くの専門学会が立ち上がっている昨今ではその役割よりも「検査技師のための会」として特筆出来るメリットを構築するのがこれからの日臨技の在り方だと思えます。

平成13年、皆様から頂く会費の一部を「賠償責任保険」へ自動的に割り当てる事業を展開しました。このような技師会員の特典を契機に会員を増やし、より良い事業が行えるよう技師会を発展させる所存です。

それには会員の皆様に日臨技と言う職能団体の構成員として自覚と高い意識を持って欲しいと願って止みません。

メリーさんの…深～いお話！

メリー・ポピンズが傘をさして空を飛ぶ…どうして？

20年前のこと…小さな女の子が「私もお空を飛びたい」と言って、2階から思いっきり飛び出しました。

ドス～ン…庭に落ちてしまいました。

「どうして私は飛べないの？傘が小さいから？」

今度は、お父さんの大きな傘で、飛んでみました。

ドス～ン…女の子の思いは届かず、またまた庭に落ちてしまいました。

「お父さんに怒られる」

女の子は、泣きながらお父さんに尋ねました。

「お父さん！どうして私は飛べないの？」

お父さんは、怒るところか、ニコニコ笑って答えました。

「それはね、お前が飛ぶという目的で飛んだからだよ」

「どうして駄目なの？」

「メリーさんは、皆を幸せにしたいなあ～という目的があるから飛べるのだよ」

「目的があれば、私も飛べるの？」

「そうだよ。でも、お前はまだ無理だよ。もっと大きくなって、目的を持ったら遠くまで飛んで行けるよ」

「ふ～ん！」

それから、女の子はお父さんの言うとおりの「目的」に向かって勉強しました。

20年たった今、女の子は“メリーさん”になり、皆を幸せにしたいという目的を持って、明るく浅草の空を飛んでいるそうです。

専務理事就任にあたって

専務理事 金子 健史

平成 22・23 年度も引き続き専務理事の任にあたらせていただくこととなりました。少しでも会員の皆様のお役に立つように粉骨砕身、会務に精励する所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

1985 年のプラザ合意以降、急速な円高による「円高不況」が懸念されたため、低金利政策が継続的に採用されました。この低金利政策が、不動産や株式への投機を加速させ、やがてバブル景気をもたらすこととなりました。

成長路線をひた走っていた日本経済も、90 年代のバブル崩壊という変曲点を経て、グローバリゼーションというアメリカの身勝手な枠組みに組み込まれ、「結果の平等」から「機会の平等」へと世の中は大きく様変わりし、その結果、「1 億総中流社会」から「格差拡大社会」へと変貌を遂げました。

財政破綻寸前の国が「大きな政府から小さな政府」へと舵を切った行く手に待ち受けていたもののひとつが「公益法人制度改革」でした。

本来、国や地方公共団体という第 1 セクターで遂行すべき事業を第 3 セクターに委ね、見返りとして税制優遇措置を講じるというものです。このような外部環境の変化に伴い、私たちの技師会も大きな改革を余儀なくされることとなりました。

従来の主務官庁による「許可主義」から公益法人制度改革関連 3 法（一般社団・財団法、公益法人認定法、関係法律整備法）による「準則主義」への変革は、これまでの所謂「技師会活動」に対する意識を一変させるものです。それというのも一般社団・財団法は会社法をベースに作られており、役員等の責任権限が大幅に変更されているからです。理事には一般社団・財団法での競争禁止義務、利益相反取引の制限、忠実義務、第三者に対する損害賠償責任、法人に対する損害賠償責任、役員等の連帯責任、民法の善管注意義務等が課せられます。理事になるにも相当の覚悟を要する時代になったといえます。

公益社団か一般社団か、そのメリット・リスクを天秤にかけると悩ましい限りで、会員の皆様にも様々なご意見があると思えます。当会の場合、公益社団を目指すには収支相償及び遊休財産額の保有制限をクリアしなければならず、一般社団を選択するとしても公益目的支出計画のための事業区分の工夫が必要となります。

しかし、そうは言っても、「輸血管理加算」の新設や世界に類を見ない「データ標準化事業」の展開、そして「技師法改正」など、社会制度を変え得る潜在的エネルギーを有する組織が、誰でも登記するだけで認可される一般社団を選択するとは考えにくいことも事実です。

いずれにせよ現行の 50 を超える事業を仕訳け直し、会員の利益を損なわないように再構築して新法人制度に適合させなければなりません。

会員の利益を図りながら公益事業も推進していくとなれば新たな収益事業の展開も視野に入れなければなりません。私たちは、何の営業努力もせず毎年安定的に入ってくる会費収入を配分し消費する一方であったため、法人税法上の 34 収益事業を眺めても、ただただ嘆息するばかりです。

また、今年度は新法人への移行のために新定款を起草しなければなりません。そのためには、「会の目的」、「目的を達成するための事業」を始めとして、「社員総会の権限」、「地区技師会の取扱い」、「理事会の構成」、「理事選出のあり方」、「理事定数」といった積み残された機関設計を、新理事会で集中的に審議しなければなりません。

その一方、あまたある事業を推進しなくてはならず、今年は大変多忙な年になりそうですが、「創造の知恵」と「改革の勇氣」をもって邁進する所存です。

平成 22・23 年度 執行体制 < 理事・監事・事務局 >



会長<新任>
高田 鉄也
北海道



副会長<重任>
才藤 純一
千葉県



副会長<新任>
桜坂 知昭
神奈川県



副会長<再任>
小沼 利光
東京都



専務理事<重任>
金子 健史
神奈川県



理事<重任>
森嶋 祥之
大阪府



理事<重任>
長迫 哲朗
福岡県



理事<新任>
岡本 由美
岡山県



理事<重任>
小郷 正則
岡山県



理事<重任>
谷口 薫
広島県



理事<重任>
湯浅 宗一
京都府



理事<新任>
佐野 道孝
大阪府



理事<重任>
百田 浩志
佐賀県



理事<新任>
丸田 秀夫
長崎県



理事<新任>
野村 務
香川県



理事<重任>
土居 修
愛媛県



理事<重任>
田中 久晴
和歌山県



課長
川原 緑
東京都



係長
辻 和広
東京都



係長
神山 良二
埼玉県



係員
小出 俊
東京都



アドバイザー
並木 一佐夫
神奈川県



理事<新任>
玉置 達紀
和歌山県



日本臨床検査技師会館
〒143-0016 東京都大田区
大森北 4 丁目 10-7



理事<重任>
及川 雅寛
北海道



理事<新任>
東 恭悟
北海道



理事<新任>
田上 稔
北海道



理事<重任>
番場 正人
宮城県



理事<新任>
伊藤 茂雄
岩手県



理事<重任>
高木 義弘
静岡県



理事<重任>
五内川 里子
埼玉県



理事<重任>
直井 芳文
茨城県



理事<重任>
町田 幸雄
千葉県



理事<新任>
岩上 みゆき
群馬県



理事<重任>
栂山 広美
愛知県



理事<新任>
斎藤 幸弘
神奈川県



理事<重任>
小栗 孝志
長野県



理事<新任>
赤石 清美
東京都



理事<再任>
川島 徹
千葉県



理事<新任>
山本 初津忠
岐阜県



理事<新任>
小林 圭二
三重県



監事<新任>
青山 揚一
東京都



監事<重任>
井上 修
東京都



第 59 回日本医学検査学会最新情報！**第 59 回日本医学検査学会事務局**

現在、5月22日、23日の学会開催に向け、和歌山県臨床衛生検査技師会は総力を挙げてその準備を進めております。

今回の学会では、世代を問わず、ベテランの技師から若手の技師まで楽しめる学会を目指し企画、立案を行いました。例えば教育セッション！各分野の基礎が学べる講座で、1日たっぷり聞きたい方はそのままいけば各分野の基礎について学べるようにスケジュールを組んでおります。新人技師はもちろんベテラン技師も必聴です。

また医学検査学会では初の試み、エイズチャリティイベントをタレント 山本シュウ氏、漫才師 TKO を迎えて開催の予定です。他にも日本・タイ共同での国際フォーラムや各県の学術部を巻き込んだのラウンドテーブルディスカッション、一般市民対象の HIV 啓発イベント VCT、展示会場でのメーカー 20 社による 1 コマ 15 分の新製品プレゼンテーションの開催と新しい企画をご用意しております。

また、例年開催される懇親会では和臨技会員率いるラテン JAZZ バンドによる演奏とサンバのダンス、和歌山名物の屋台の出店、和臨技よりのおたのしみ企画を準備しております。

学会テーマは「和」 - Innovation and Future -

臨床検査の「和」、ちしきの「和」、いのちの「和」、人と人の「和」、和歌山の「和」・・・参加して頂く皆様に多くの「和」を感じて頂ければと考えております。

「第 59 回学会はここが違う！！」**1. 国際シンポジウム**

HIV 検査のクオリティー検証と題して、タイ国臨床検査技師会との共同で HIV 検査の外部精度管理についてパイロットスタディを実施。学会当日は日本側、タイ側の講師を招きアジアにおける HIV 検査のクオリティー向上にむけてディスカッションを予定。

2. 特別講演 エイズチャリティイベント（公開講演、漫才、トークショー）

エイズ予防啓発イベントに精通したタレント DJ 山本シュウ氏を招き一般市民を対象にチャリティイベントを開催。漫才、トークショーを交えて HIV/AIDS への理解を深め、そのなかでの臨床検査技師の業務・役割についてもアピールする。得られた収益金は、日本ユニセフ協会を通じて母子感染や若者の感染拡大を防ぐための教育活動、またエイズで親を亡くした子ども達の支援のためのサービスの提供や感染者の治療などに寄付する。

トークショー出演者：(司会) 田中さなえ (出演) TKO 他

**3. VCT (Voluntary Counseling and Testing) 「自発的なカウンセリングと検査」**

エイズ予防啓発イベントに付随して HIV 即日検査を一般市民対象に開催。

本人がカウンセリングにより十分な説明と理解のもと、HIV 検査を受けるか受けないかを自己決定。検査実施後、検査結果を伝えサイドカウンセリングを実施。検査陽性時のサポートやケアを受けるための大きな窓口となり、プライバシーが守られた環境で、安心して HIV 検査を受ける事ができます。

4. 教育セッション

今更聞けない！各分野の基礎が学べる教育セッションを連日開催、新人技師は必見・ベテラン技師も大歓迎です。

公演内容はホームページ参照のこと。

5. 行列ができるスキルアップ研修会

糖尿病療養指導士や認定臨床微生物検査技師などの認定資格について、資格更新・認定取得のための講座を 10 講座をご用意しております。申込は学会ホームページにて受付中ですが、締め切り後も事務局へ問い合わせ頂ければ参加可能です。

講座内容はホームページ参照のこと。

6. ラウンドテーブルディスカッション 若手参加型の技師会を作るには？

「うちの若手に教えていてもやる気があるのかどうかよくわからない」「仕事は仕事と割り切っているのか、休日の技師会活動への参加少ないなあ」といった声を聞いたことはありませんか？若手技師は仕事に対する意欲が低いのでしょうか？との疑問から、日臨技会員と各都道府県技師会へのアンケートを実施し、双方に意識の溝はないのだろうか？また、各都道府県技師会学術部に参加をお願いし、各技師会の取り組みから全国に発信できる解決策を探ります

7. 症例報告 テーマ turning point 一分岐点 私を成長させた症例ー

後進を育てる一環として、自身が経験した失敗談や、検査技師人生を左右した分岐点となる症例を各分野別に提示していただき、後輩が同じ分岐点に立ったときの道しるべとなっていたらと思います。思い企画した教育セッション。

※ 詳しい内容につきましては、第 59 回日本医学検査学会ホームページ (<http://59jamt.jp/>) 及び医学検査 4 月号 (学会抄録集) をご覧ください。皆様のお越しを和臨技会員一同お待ちしております。

社団法人日本臨床衛生検査技師会
平成 22 年度 第 1 回 定期 総会

会 期：平成 22 年 5 月 21 日(金) 午後 2 時～4 時

会 場：神戸ポートピアホテル本館 B1 階楽

〒650-0046 神戸市中央区港島中町 6 丁目 10-1

好評連載中 ……検査のはなし…

<中日新聞・東京新聞 毎週金曜日朝刊>

第 66 回<0219> <微生物 上>
検体を顕微鏡で観察

病気の原因となる微生物について紹介
します。
微生物の研究には顕微鏡が不可欠です。
16 世紀末に顕微鏡が発明され、17 世紀の
中盤に微生物が発見されました。ペスト
やコレラ、腐敗、発酵などへの微生物の
かかわりも、次々に解き明かされました。
病原微生物は、菌体が小さいものから
順に「ウイルス」「細菌」「真菌」に大別
されます。ウイルスは、流行の新型イン
フルエンザなどで有名です。細菌は食中
毒や結核などの原因となります。真菌は、
一般的にカビと呼ばれ水虫などの原因と
なります。
検査には、微生物の採取が必要です。
当然ながら炎症が強い場所に多く存在し
ますので、その部位をぬぐい取ったり、
注射針などで吸引したり、そこから排出
されるものを調べます。たとえば肺炎で
あれば痰、腸炎であれば便、膀胱炎であ
れば尿が検体になります。
採取した検体は微生物が際立つように
染色し、顕微鏡で観察します。微生物の
形状や染色の具合も貴重な情報です。ウ
イルスは普通の顕微鏡では見えませんの
で、検体を反応しやすいように処理して
免疫学的方法で確認することもあります。

第 67 回<0226> <微生物 下>
培養して種類を確定

患者さんから採取した微生物の種類を
確定するため行うのが「培養」です。細
菌は、寒天や液体の培地に菌が好む栄養
を豊富に含ませ、菌を増やします。菌の
集落の形状や色、菌の状態などの経過観
察も重要です。食中毒の原因となるブド
ウ球菌は、球形の菌がブドウの房のよ
うになるので、この名が付きましました。ウ
イルスは人工的な培地では増殖しないので、
動物や卵を使って増やします。
微生物の種類が分かれば、炎症を抑え
る薬を処方できます。その薬剤の効果を
体外で実験することもあります。培地に
病原菌を均等に塗る、数種類の抗生物質
を間隔をあけて置きます。薬の周囲の菌
が発育が悪いほど、有効な薬であるわけ
です。これを薬剤感受性試験といいます。
感受性が証明された菌に対し同じ抗生
物質を長く使っていると、細菌が抵抗
力を付けることがあります。これを薬剤耐
性といいます。二十年ほど前、メチシリ
ン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) は院内
感染の原因として大きな問題になりまし
た。現在では、各医療機関に院内感染予
防の委員会の設置が義務付けられ、対策
を講じていますが、細菌の側も変化を続
けています。

第 68 回<0305> <雑聴>
音や振動でタイプを判別

私たちが音や言葉を認識するのは、大
脳の「側頭葉聴野」という部分の働きで
す。音の刺激は、外耳から中耳、内耳を
通って、脳に伝わっていきます。
聴覚障害には、前半の「外耳→中耳」
の音を伝える部分にトラブルがある「伝
音難聴」と、「内耳→脳」の音を感じる部
分で起こる「感音難聴」、その両者が組み
合わさった「混合性難聴」の三つのタイ
プがあります。
聞こえにくさを訴える患者さんには、
検査をして難聴の程度やタイプを調べま
す。これを「純音聴力検査」と言います。
最も基本的で重要な検査です。125～
8000 ヘルツまでのいろいろな周波数の音
がいろいろな強さで出ますので、どこま
で聞き取れるかを調べるわけです。
太鼓のようなドンドンと低い音、スズ
メの声のようなチュンチュン、鈴の音の
ような高いシャンシャンなどを、耳にヘ
ッドホンや当てる、聞こえている間にスイ
ッチを押してもらいます。この検査には、
伝音難聴を調べる「気導聴力検査」と、
内耳以降の感音難聴を調べる「骨導聴力
検査」の二種類があり、骨導検査は、耳
たぶの後ろにレシーバーを当て、耳の骨
に直接振動を加えて調べます。

4月1日～4月30日

臨床検査普及月間 皆様のご協力を!



日臨技は、平成 17 年 5 月 28 日に新たに毎年 4 月 1 日から 30 日の
1 カ月間を「臨床検査普及月間」として制定しました。
目的は「医学検査デー及び関連事業開催規定」によると、臨床検査
の重要性と意義を、医学検査デー及び関連事業において広く国民に公
開し、臨床検査に対する認識を高揚するとともに、その担い手として
の臨床検査技師をアピールし、以って社会的地位の向上を図ること
としています。
昨年は、オーロラビジョンによる啓発活動を全国展開し、厚生労働
省から評価をいただきました。今年度は、医療機関をはじめとする各
種施設にポスターを掲示していただき、長期間の啓発活動を行います。
すでに、各都道府県技師会へはポスターを送付するとともに、普及
活動をお願いしております。よろしくご協力いただくとともに国民の皆様
の反響などについてご意見をいただくようお願いいたします。



厚生労働省情報

参照：医薬品医療機器情報配信サービス <http://www.info.pmda.go.jp/info/idx-push.html>

厚平成 22 年 3 月 1 日付けにて、生労働省医政局指導課長並びに厚生労働省医薬食品局安全対策課長より都道府県各保健所を設置する市衛生主管部(局)長宛に「耳朶穿刺時等の微量採血のための穿刺器具の取扱いについて」が通知<医政指発 0301 第 1 号薬食安発 0301 第 7 号>された。

内容は、標記についての注意喚起及び周知依頼であり、「微量採血のための穿刺器具は、血糖値の測定時等に指先等の皮膚を穿刺する器具です。穿刺器具の穿刺部位に関しては、指先での穿刺が行われることが多いですが、痛みの軽減や指先を傷つけないとの患者の希望等の理由から、指先以外の部位での穿刺も行われております。今般、医療従事者が穿刺器具で指先以外の部位での採血として患者の耳朶(耳たぶ)をじだ穿刺したところ、穿刺針が耳朶を貫通し、耳朶を支えていた医療従事者の指を穿刺したという事例が複数報告されております。穿刺器具は医療機関等で広く使用されており、このような指刺しが起こりますと、患者・医療従事者間での血液を介した感染のおそれがあることから、下記の点に留意し、医療機関等において同様な事例の発生が防止されるよう関係者に対する周知方よろしくお願ひします。なお、別添のとおり穿刺器具の製造販売業者に対し、添付文書の使用上の注意欄を確認し、必要な注意事項を記載するよう通知済みであることを申し添えます」となっている。

第 56 回臨床検査技師国家試験 に関する要望書を提出

去る 2 月 24 日に実施された第 56 回臨床検査技師国家試験を検証し、疑義問題の意見を要望書としてまとめ、3 月 5 日付けで厚生労働省へ提出した。以下は、その要旨である。

21 日臨技発第 235 号
平成 22 年 3 月 5 日

厚生労働省医政局医事課
国家試験係 御中

社団法人 日本臨床衛生検査技師会
会長 小崎 繁 昭

第 56 回臨床検査技師国家試験問題に関する疑義について

当会臨床検査技師国家試験問題検討会で、第 56 回臨床検査技師国家試験問題を検討した結果、以下の試験問題において疑問点が指摘されました。その内容と意見を報告するのでご検討いただくをお願いします。

I 出題内容についての評価

今回の試験では基礎的な問題もあれば、1 つ解答がわかってもさらに次の思考を必要とする問題もあった。試験内容全般をみると妥当な問題が多く、出題傾向に偏りも見られなかったと考える。

II 国家試験内容の問題点

<午前問題>

問題 13 低血糖を特徴とするのはどれか

- 1. 肝硬変症
- 2. 先端肥大症
- 3. von Gierke 病
- 4. Cushing 症候群
- 5. ヘモクロマトーシス

◇問題番号：午前 13
◇意見：正解数は 2 つ
◇正解：1 と 3

肝硬変症では血統安定化に障害があるため、しばしば低血糖をきたすことがある。したがって正解のひとつになると考えられる。

◇根拠となる資料
臨床検査学講座・臨床医学総論/臨床検査医学総論 第 2 版(医歯薬出版、奈良信雄著、第 2 編 疾患と臨床検査 p377 に血糖値が低値になる疾患として肝硬変が挙げられている。

問題 43 大量摂取しても中毒にならないのはどれか

- 1. ビタミン A
- 2. ビタミン C
- 3. ビタミン D
- 4. ビタミン E
- 5. ビタミン K

◇問題番号：午前 43
◇意見：正解は 3 つ
◇正解：2 と 4 と 5

正解は 2 のビタミン C と考えるが、ビタミン E と K の過剰症は特に報告されておらず 4 および 5 も正解とすべきではないか。

◇根拠となる資料
ビタミンの辞典(2004 年第 5 刷出版)p117 127 日本ビタミン学会編集朝倉書店

問題 92 機器と測定対象の組み合わせで正しいのはどれか。2 つ選べ

- 1. 黒球温度計・・・気流
- 2. カタ寒暖計・・・輻射熱
- 3. ポケットチェンバー・・・外部被爆量
- 4. 検知管式ガス測定器・・・一酸化炭素
- 5. アスマン通風乾湿時計・・・感覚温度

◇問題番号：午前 92
◇意見：3 番のポケットチェンバーという表現は一般的でなくフィルムバッジと挙げるべきで可である。

◇根拠となる資料
臨床検査技術学 18 (放射性同位元素検査技術学 第 3 版、村中明・爲近美栄著 医学書院 2003p69 (ポケットチェンバーは記載無))

<午後問題>

問題 31 銅を輸送する主要な血漿蛋白はどれか

- 1. アルブミン
- 2. ヘモグロビン
- 3. ハプトグロビン
- 4. トランスフェリン
- 5. セルロプラスミン

◇問題番号：午後 31
◇意見：正解は 1 と 5
従来の考え方に従い、5 番のセルロプラスミンであると考えますが、教科書によっては銅の運搬は主にアルブミンとアミノ酸が行っていると記載されている。

◇根拠となる資料
Allan et.al, clinical biochemistry, p114-115 Foueth Edition 2008
臨床検査学講座 臨床化学検査学第 2 版、p285-287

問題 53 メセナミン銀液を使用するのはどれか

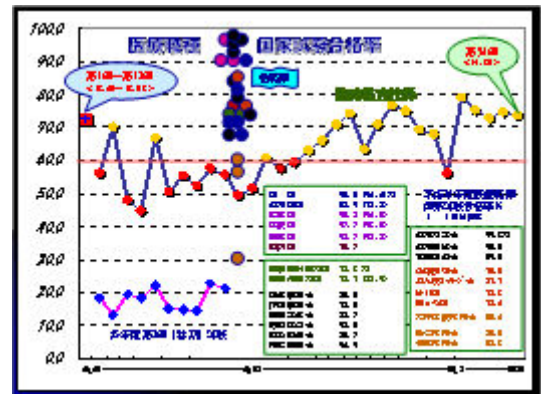
- 1. 鍍銀法
- 2. PAM 染色
- 3. ボディアン染色
- 4. グロコット染色
- 5. グリメリウス染色

◇問題番号：午後 53
◇意見：正解は 1 と 2 と 4
鍍銀は光や還元剤の力を借りずに銀イオンを還元し、組織または細胞中に銀粒子を沈着させることを意味する。鍍銀法は細網線維染色のみならず銀の還元染色を全部指すことになり、鍍銀法も正解となるのではないか。

◇根拠となる資料
病理学/病理検査学 p334 医歯薬出版 2000,5,30

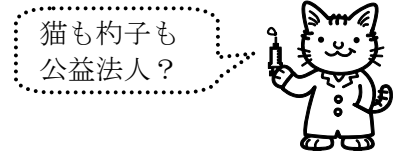
<了>

【長迫哲朗】



<オピニオン> 一般法人か、それとも公益法人か！

【スーツ選びと法人制度の共通点・・・合うか、合わないか、それが問題だ！】

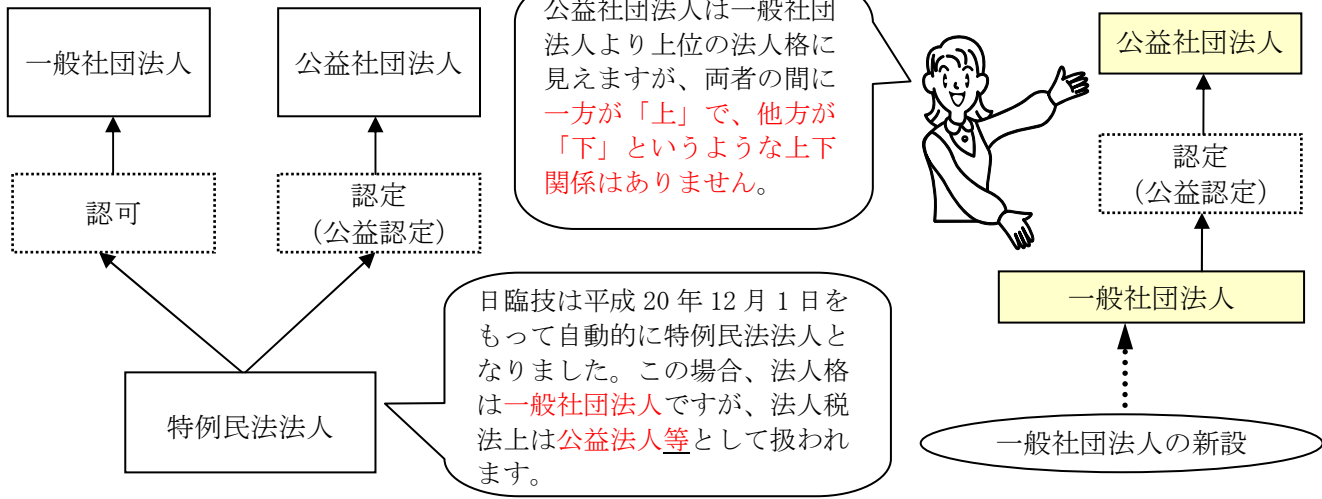


自分の体型に合ったスーツをお選び下さい。窮屈だと体を動かすのが大変ですよ。

技師会は職能団体ですので、職能団体に合った法人制度を選択する必要があります。



【一般社団法人と公益社団法人】



1. はじめに

日臨技定期総会（平成 21 年度の第 2 回定期総会）の議案書に『公益認定への検討を推進したい。』と明記してあるので、いまさら一會員の私が『一般法人か、それとも公益法人か』と言っても仕方ないのかもしれませんが、敢えて問題提起をしてみたいと思います。

2. 合うか、合わないか、それが問題だ！

平成 20 年 12 月 1 日から施行された新公益法人制度を 2 階建ての家に例えて『1 階は一般社団法人で 2 階は公益社団法人です。』という説明を聞くと、一般社団法人は下位の法人格で、公益社団法人は上位の法人格だと思ってしまうそうですが、一般社団法人と公益社団法人との間に上下関係があるわけではありません。要は、『技師会に合った法人制度を利用して下さい。』という話なのです。しかし、**どちらの法人制度が技師会に合うか、合わないか**、という検討を詳細にする前から『結論ありき』で話が進んできたように感じているのは私だけでしょうか。

3. ステータスは公益社団法人のほうが上なのか？

『社会的な評価が高まる』というのが公益法人化のメリットとして挙げられることが多いのですが、他方、公益法人には『不正の温床や不正の隠れ蓑になってきた』という暗い側面もあります。したがって、公益法人化すればステータスが上がる！という話を額面通りに受け取ることはできません。そもそも、『猫も杓子も公益法人！』というのは胡散臭いと思いませんか？

4. 慈善団体と職能団体の違い

前述の議案書に『本会は会費収入を主たる財源とし〜』とあるように、日臨技は、寄附金を主たる財源としている団体（例えば、慈善団体など）とは異なり、會員が納める会費で運営されている職能団体です。したがって、會員のための**共益事業**を軽視して、

寄附金で運営されている慈善団体のように**公益事業**を重視するというわけにはいかないと思うのです。もっとも、専門職である臨技の社会的使命として我々が公益事業に取り組むのは当然ですが、**技師会は慈善団体ではなく、あくまでも職能団体**ですので、**共益事業と公益事業のバランス**にも留意する必要があります。

5. 臨技の地位向上に向けた取り組み

女性部会の提言書（会報 JAMT3 月号）に載っていた『地位向上に向けた取り組み』というのは、まさに職能団体が取り組むべき命題の一つであります。ところで、**不特定かつ多数の者**の利益の増進に寄与すること、すなわち公益目的事業を主たる目的とするのが公益法人ですので、日臨技が職能団体として**特定の者**（臨技）の地位向上に全力で取り組むのであれば、もはや“公益法人”という選択肢はなくなると思うのです。仮に公益法人への道を選択するのであれば、**特定の者**（臨技）の地位向上よりも**不特定かつ多数の者**の利益の増進に向けた取り組みを優先する、ということになりますよね。

6. おわりに

旧制度の下では、共益活動を主とする非営利団体（職能団体）に適した法人制度がなかったので、**法人格取得のために職能団体が公益法人の看板を掲げる**ことになってしまいました。はたして、新制度の下でも『**看板は公益法人だけど中身は職能団体**』という不一致がまかり通るのかどうか・・・公益法人になるのであれば、当然“職能団体の色”を消さなければならないはずですよ。

女性部会の提言書にあった『**日臨技の本来の役割**』について、じっくり考えてみようではありませんか。

※本投稿で使用したイラストは、筆者がユーザー登録をしている市販のイラスト集のものです。

【新屋 博明】



マーケティングマネジメント — 選ばれる検査室とは —



付記 — 連載にあたって —

— 連載にあたって —

本連載は、筆者の理論を展開することが目的ではなく、マーケティングマネジメントの基本を紹介することである。

そのため、たくさんの清書を参考としている。特に、一般的に言われている内容については、フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』<<http://ja.wikipedia.org/>>から引用している。しかし、読者の理解を得るため、検査室用に筆者がカスタマイズしていることをお許し願いたい。

読者によっては、まったく新しい概念であるかもしれない。そこで、本連載で参考とした文献を掲載する。読者の中、興味をおもちになられた方は、アンダーラインを引いた参考文献をまずお読みいただきたい。

また、本連載には直接関係ないが、「お客様」といった概念を理解する場合「ホスピタリティ」を是非お読みいただきたい。これらの文献は、他の文献の根底に位置するものであり、とくに欧米の文献を理解する上で必要な概念として捉えている。

《全般》

●フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』
<http://ja.wikipedia.org/>

●コトラーのマーケティング・コンセプト
フィリップ・コトラー (著), 大川 修二 (翻訳), 恩蔵 直人 (著)
東洋経済新報社 (2003/5/2)

●コトラー&ケラーのマーケティング・マネジメント 第12版
フィリップ・コトラー (著), ケビン・レーン ケラー (著), 恩蔵 直人 (監修), 月谷 真紀 (翻訳)
Pearson Education Japan for JP (2008/4/2)

●グロービスMBAマネジメント・ブック【改訂3版】
グロービス経営大学院
ダイヤモンド社; 改訂3版版 (2008/8/29)

●グロービス MBA マーケティング【改訂3版】
グロービス経営大学院
ダイヤモンド社; 改訂3版版 (2009/8/28)

《非営利組織》

●ドラッカー名著集4 非営利組織の経営 (単行本)
P.F.ドラッカー (著)
ダイヤモンド社 (2007/1/27)

●非営利組織の成果重視マネジメント—NPO・行政・公益法人のための「自己評価手法」
P・F.ドラッカー (著), G.J. スターン (著), Peter F. Drucker (著), Gary J. Stern (著), 田中 弥生 (著)
ダイヤモンド社 (2000/12)

●非営利組織のマーケティング戦略 フィリップ コトラー、アラン・R. アンドリーセン、井関 利明、新日本監査法人公会計本部 第一法規株式会社 (2005/6/1)

《戦略》

●キャプランとノートンの戦略バランスト・スコアカード
ロバート・S・キャプラン (著), デビッド・P・ノートン (著), 櫻井 通晴 (翻訳)
東洋経済新報社 (2001/8/30)

●21世紀の医療経営—非営利と効率の両立を目指して
真野 俊樹 (編集)
薬事日報社 (2003/06)

●トヨタはなぜ強いのか—自然生命システム経営の真髄
H.トーマス ジョンソン (著), アンデルス ブルムズ (著), H.Thomas Johnson (原著), Anders Brøms (原著), 河田 信 (翻訳)
日本経済新聞社 (2002/04)

《ビジネスモデル》

●ビジネスモデル戦略論 (Harvard Business Review Anthology)
ダイヤモンド社 (2006/10/6)

●[新版]ビジネスプランニングの達人になる法 志村 勉
PHP 研究所; 新版版 (2008/12/13)

●ザ・プロフィット—利益はどのようにして生まれるのか—
エイドリアン・J・スライウツキー 中川 治子
ダイヤモンド社 (2002/12/14)

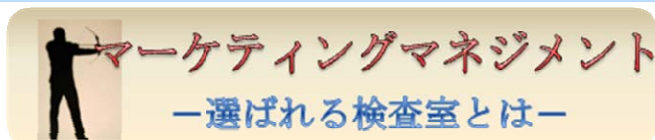
《ホスピタリティ》

●ホスピタリティ・マネジメント学原論—新概念としてのフレームワーク (単行本)
服部 勝人 (著)
丸善 (2006/02)

●コトラーのホスピタリティ&ツーリズム・マーケティング
フィリップ・コトラー (著), ジョン・ボーエン (著), ジェームス・マーキンス (著), 白井 義男 (翻訳), 平林 祥 (翻訳)
ピアソン・エデュケーション; 第3版版 (2003/12/12)

掲載予定内容

- ・製品とは?
- ・検査室のお客様と製品
- ・マーケティングの4P
- ・経営理念とマーケティング
- ・マーケティングプロセス
- ・マーケティングの「戦略と戦術」
- ・競争要因と機会
- ・マーケティング調査
- ・ビジネスモデル
- ・非営利組織のマーケティング
- ・マーケティング戦略策定ルートマップ



第1回 マーケティングの概念

(1) マーケティングの定義

製品が開発されてから消費者に渡るまでの過程の一切の活動を指している。一般に、どういう製品(Product)を作り、いくら(Price)で、どういう経路(Place)で、どのように売る(Promotion)か、ということが検討対象となる。近年では企業活動にかぎらず非営利組織でもその技術が応用されている。

マーケティングとは?という答えには、実は明確なものが準備されている。

世界で最も権威のあるマーケティング研究機関、アメリカマーケティング協会(通称AMA)では、マーケティングを次のように定義している。

<全米マーケティング協会(AMA:1985年)>

Marketing is the process of planning and executing the conception, pricing, promotion, and distribution of ideas, goods, and services to create exchanges that satisfy individual and organizational objectives.

「マーケティングとは、個人や組織の目標を満足させる交換を創造するための、アイデア・製品・サービスのコンセプト、価格、プロモーション、流通を計画し、実行するプロセスである」

また、日本のマーケティングに関する研究機関(通称JMA)では、次のように定義している。

<日本マーケティング協会(JMA:1990年)>

「マーケティングとは、企業および他の組織①がグローバルな視野②に立ち、顧客③との相互理解を得ながら、公正な競争を通じて行う市場創造のための総合活動④である」

- ① 教育・医療・行政などの機関、団体を含む。
- ② 国内外の社会、文化、自然環境の重視。
- ③ 一般消費者、取引先、関係する機関・個人、および地域住民を含む。
- ④ 組織の内外に向けて総合・調整されたりサーチ・製品・価格・プロモーション・流通、および顧客・環境関係などに関わる諸行動をいう。

さらに、個々の研究者によって、その定義の仕方、表現方法はさまざま以下のようなものがその例である。

<マーケティングの定義の例>

(<http://www.navigate-inc.co.jp/term/term-marketing.html>)

- ・ピーター・ドラッカー：
「マーケティングの究極の目標は、セリング(売り込み)を不要にすることだ」
- ・セオドア・レビット：
「マーケティングとは、顧客の創造である」
- ・フィリップ・コトラー『マーケティング原理』：
「マーケティングとは、個人や集団が、製品および価値の創造と交換を通じて、そのニーズや欲求を満たす社会的・管理的プロセスである」

- ・世界マーケティング協作業部会(1999年)

Marketing is the core business philosophy which directs the processes of identifying and fulfilling the needs of individuals and organizations through exchanges which create the greatest possible value for all parties to the exchange.

(2) マーケティング・コンセプトの変遷

マーケティング・コンセプトとは、マーケティングの考え方である。これには、市場の需給関係から生産志向(プロダクト志向)、販売志向(セリング志向)、マーケティング志向の3つの発展段階があるとされている。また、近年では、社会全体を考えた社会志向という考え方がある。

① 生産志向

需要が供給を高度に上回っており、売手市場でみられる考え方である。作るものはすでに決まっています、作れば売れるという物不足の状況では、企業の関心は生産量の増大にあるため生産志向という。この段階での企業目標は、生産の効率化による利潤追求である。

② 販売志向

供給が需要を上回った状況。生産量が増えてくると、初めて販売に企業の関心が移ってくる。売手市場ではなく、やや買手市場になった状況でみられる考え方である。作ったものが売れ残る危険性がでてきたため、在庫を売りさばくための販売方法を考えていくもの。現実の企業では、顧客志向ではなく、この販売志向が多いのかもしれない。

③ 顧客志向

さらに大量生産体制が確立して供給過剰が慢性化すると、完全な買手市場となり、うれるものを生産しなければならなくなる。まず、顧客のニーズを探ってから、作る商品を考えていたり、売る方を工夫したりする。市場に入り込んで、市場のニーズを探らなければ販売問題は解決しない。これをマーケット・インという。

顧客のニーズを先に特定するので、究極の目的は、販売努力をしなくても良い状況を作り出すこととなる。

④ 社会志向

顧客志向を前提に、社会全体の厚生を高める方向で企業の行動を考え、実行していく志向。自然環境や天然資源、生活環境等を踏まえ、地球環境として捉えることのできる場所にまで思考をめぐらし、全体の一員として、全体がより良い方向に進むように行動していくという考え方。

現代においても、これらの志向はそれぞれ生きている。しかし、経済が成熟化し、消費者のニーズが多様化し、それに応えようとする企業の数が増え、消費者の選択肢が増え、物質的に豊かになると、市場の指向そのものが社会志向へと移行し、それに伴って企業が指向する方向も社会志向へと移行する。

(3) 本連載におけるマーケティングの定義

本連載では、先に挙げた定義を総合的にマーケティングの定義を若干広く理解し、次のように定義付ける。

《マーケティングの定義》

「マーケティングとは、組織が社会的な環境に適応する仕組みを作る行為である。」

人間にとって社会的な環境とは、その人や組織が存在し続ける上で、影響を受け得る範囲のことである。

人間で構成される組織は、社会的な環境に適応できなければ、存続することはできない。そして、社会的環境に適応するためには、社会に対して何らかの役割を果たしていかなければならないといえる。

その役割を果たす時に、どのような役割を果たし得るかを考えることが、マーケティングであり、それを考えようとする思考の傾向のことをマーケティング・コンセプトという。

近年では、この考え方を拡張し、企業以外の組織にも当てはめていくことも増えている。

企業概念を、非営利組織や行政あるいは地域そのものにまで拡張し、市場概念を、これらの組織等が存続のために必要となる様々な対象に拡張することによって、マーケティングの手法を応用していくというものである。

【町田幸雄】

次号へ続く・・・

理事投稿 = 1 =

今月より、理事投稿をシリーズでお届けします！

◇ 酒よ！…温泉&酒蔵ツアー

私は日本酒が大好きです。

3年前まで、定年になった元上司とともに毎年「温泉&酒蔵ツアー」を楽しんでおりました。

車で出かけますが、帰りには2人で買ったお酒でトランクが一杯になるほどで、ツアーでのエピソードをご紹介します。ちなみに同行するこの上司の名前は母里(ボリ)さんといいます。

福岡から高速で山口へ。津和野に立ち寄り地酒を手に入れ宿泊予定地の匹見峡温泉へ。到着してまず驚いたのは、廃校となった分校が外観はそのままで内装だけ改造され立派な宿泊施設となり、昔運動会を行ったであろうグラウンドが駐車場となっていました。玄関・靴箱が並べられていたと思われる場所がフロントと売店となり、部屋は教室を間仕切りしての立派な洋室で、渡り廊下をはさんだ別棟には広々とした温泉があり、おいしい山の幸料理を夕食にいただきました。

翌朝、昨夜頂いたお酒を売店で買い求め出発。次の酒蔵・温泉を目指す途中、三段峡を見学し広島県へ入り、のどかな山あいの酒蔵をやっと探し出した時の出来事です。

事務のおばちゃんらしき方、一人で留守番をしておられました。「福岡から来たとばってん、ここのお薦めの酒ば分けてくれんですか」「社長が帰られまで待ってください」…10分ほど待ちました。

「社長、福岡からお客さんが見えています」「社長、この酒蔵で一番おいしか酒ばわけてもらえんですか」

「うちは小売はしよらん。せつかく来てもらったけど売られん」

「そこば何とか分けてもらえんですか」「売られんものは売られん」

このような会話をしていた時、黒田節で有名な槍と杯を持った博多人形が目に入り「すばらしか人形ですね」と褒めたところ「親友からのプレゼント」とのこと。「この人形のモデルはこの人のご先祖様(母里太平衛)なんですよ」ここから態度がガラッとかわり、「そーですか。こんなところで立ち話もなんですから」と社長室と書いてある小部屋に通されお茶をいただきながら世間話をし、消費税抜きでおいしいお酒を分けていただきました。(タダではなかった)

山口県と広島県の酒蔵を数件めぐりおいしいお酒を手に入れ、山あいの温泉にゆっくりつかるといった楽しい3泊4日の「大名旅行」でしたが、広島市内の酒蔵ではあるべき場所に酒蔵がなく、探し

回った挙句尋ねると「火事で焼けてしまって、そこ空き地があった場所」なんともいえない気持ちでした。

また、佐賀県の酒蔵には先ほどとはまったく逆の酒蔵があり、「うちの酒は市販しとらん。買いに来た人だけにしか売りよらん……」

「富士の雪」という銘柄だけを造っておられる田舎の普通の軒屋。先代が上京の折、富士山の冠雪の美しさに感動し名づけたといわれる銘柄が「富士の雪」で、明治・大正時代にはこの地に炭鉱があり、需要に生産が追いつかなかったこともあったそうです。かつては有田の水を用い全国清酒品評会で優等賞を獲得するなど伝統のあるお酒ですが、今では玄関に小さく「富士の雪」の看板がかかっているだけでわからずに通り過ぎてしまうこと間違いなしです(10本買って帰りました)

二人とも「温泉とお酒が大好き」です。人の出逢いには格好なものです。

しかし、私は「アルコール依存症には注意」しています。アルコールが無ければ何も言えない、何でもアルコールのせいにする等など、アルコール依存症は、身体はもとより精神をも蝕む怖い存在です。依存症とともに、当然「飲酒運転は絶対にしない」ことを誓っております。

【長迫 哲朗】

◇ 空気…

流行語に「KY」という略語があったことは記憶に新しい。これは「空気読め」や「空気が読めない」という意味で使われていた。

山本七平は『『空気』の研究』のなかで、「驚いたことに、『文藝春秋』昭和五十年八月号の『戦艦大和』でも、『全般の空気よりして、当時も今日も(大和の)特攻出撃は当然と思う』という発言が出てくる。この文章を読んでみると、大和の出撃を無謀とする人びとにはすべて、それを無謀と断ずるに至る細かいデータ、すなわち明確の根拠がある。だが一方、当然とする方の主張はそういったデータ乃至根拠は全くなく、その正当性の根拠は専ら『空気』なのである。最終的決定を下し、『そうせざるを得なくしている』力をもっているのは一に『空気』であって、それ以外にない。これは非常に興味深い事実である。」と書いている。

確かに、歴史書を読んでいるとこのような場面に多く遭遇する。大和の出撃に限らず、日本軍の戦略策定は一定の原理や理論に基づくというよりは、多分に情緒や空気が支配する傾向にあったと思われる。その多くは、「必勝の信念」、「人情論」に帰結している。不確実性が大きい状況では、人々が個々に行動することは最悪の事態を引き起こす可能性があり、正解はどれだけ多くの人々がそれを正し

いと思っているかに依存する。空気は、人々の行動を一つの解に同調する役割を果たしているといえる。

たとえば、1930年代の大恐慌をもたらした原因は、金融システムの崩壊によって投資家のリスクを恐れる空気が、現金(流動性)に逃避したことにある。さらにサブプライム・ローンの問題は、資産担保証券(ABS)の評価は格付け会社によって行なわれているが、彼らは評価する対象の発行企業から報酬を得ているので、甘く評価するバイアスが生じやすいという疑惑が内在していた。そういう疑惑がもととあったところに、7月の格下げで「やはり」という空気となり、パニックが他の証券にも広がったものである。

人は、不確実性に直面した場合、多数派同調傾向を示すことで、安心していられる不確実性の存在しない環境を生み出そうとすると考えられる。このことは、多数派同調傾向が安心を生み出すが、信頼を生み出す訳ではないことを意味している。むしろ逆に、特定の相手との間に相互拘束関係を維持することで、関係外部の人間に対する信頼が低下する傾向にある。多数派同調傾向は安心を生み出すが信頼を破壊する傾向にあると思われる。

山本七平は『『空気』の研究』のなかで、『『やると言ったら必ずやるサ、やった以上はどこまでもやるサ』で玉砕するまでやる例も、また臨在感的把握の対象を絶えずとりかえ、その場その場の“空気”に支配されて、「時代の先取り」といって右へ左へと一目散につっぱしるのも、結局は同じく「言必信、行必果」的「小人」だということになるであろう。大人とはおそらく、対象を相対的に把握することによって、大局をつかんでこうならない人間のことであり、ものごとの解決は、対象の相対化によって、対象から自己を自由することだと、知っている人間のことであろう。』と書いている。

ちなみに、論語に記されている第一の士は『行己有恥、使於四方不辱君命、可謂士矣』、『我が身の振る舞いに恥を知り、四方に使いに出て君の命令を損なわなければ、士だと言える。』である。

私が考えるに「空気」とは、共同体のうちで共有化された価値観、知識であり、共有化された価値観を持つ人間は、その共同体に属し同じ価値観をもつ者がほかにいるという精神的な後ろ盾があるため、少数派を攻撃することに躊躇しない。

「KY」という略語は、「個人の自由」を否定し、失わせていく構造が含まれていると考えられる。「空気が読めない」には善悪両面の価値が存在するが、それは人の「自由意志」が存在している何よりの証しとも言える。「空気を読む」ということは共有化された知識、価値観に身をゆだね、自ら考えることを停止してしまわないだろうか。

さらに、「空気を読ませる」ということは「多数の思考に同調しろ」と強制しており、要するに「お前個人の自由な思考は許さない」「その場において、ある一定の価値観しか認めない」といった、異質な思考を排除していると考えられる。

多数派は、共有意識という後ろ盾をもって少数派を攻撃するように、ただ多数の人間と価値観を共有することで安心し、自らを優れた強い人間と思ひ込みはしないだろうか。そしてこの「空気」はもちろん家族から友人、社会、国家など人が集まるいたるところに存在する。「KY」という現代の言葉を共同体特有の価値観、知識という概念にまで拡張すると、人の心の中にはびこる不安や空虚さが浮き彫りとなる。

まさに、「個性の時代」と言いつつ、多数派同調傾向の日本人を端的に言い表した略語であったのではないだろうか。

【町田 幸雄】

◇ わが町、佐久

一 健康と長寿都市 一

東京駅より長野新幹線に乗り、ウトウトしていると冬場の窓際は特に寒さを感じることがある。気がつくとき軽井沢駅付近である。

この当たりの車窓から見える浅間山とそれに連なる峰々を過ぎると、私の住む町佐久平駅に到着する。

ちょうど長野県の東部に位置する。佐久方面から北側に望む雄大な浅間山、ここからの眺めは最高である（自己満足）。また、自身の勤務する病院からも見えるのだが、今年のようにいつになく雪の多い年は、純白に包まれその「凜」とした姿は、広い青空とみごとに調和している。

雪が解けると深緑の山肌が・・・

夏には澄み渡る大空に少し雲がかかり、雄大かつ優美な風景が楽しめる。四季折々の姿を映し出す浅間山に勇気付けられるのは私だけだろうか。

さて、佐久平は昭和 43 年県歌として制定され信州各地で遠い昔から愛唱されている「信濃の国」

・・・【長野県民はどこにいてもこの歌を聞くとなぜかうれしくて、なつかしくて口ずさんでしまうのですが】・・・

の一節に歌われているように、今でも活発に火山活動を続けている浅間山や、山梨県にまたがる八ヶ岳など火山の噴火によって形成された盆地である。

現在は、長野新幹線・上信越自動車道などの交通網の整備により、首都圏へのアクセスも便利になってきている。

今、バンクーバー五輪で日本選手の活躍が注目されているが、この高速交通網の事業は長野冬季オリンピックにあわせて整備されたため、突貫工事的な要素があったように記憶している。

そして、静岡県と結ばれる中部横断自動車道の工事が着々と進められている。海のない長野県は、すでに上信越自動車道によって日本海とはつながっているが、近い将来太平洋ともつながり、長年の夢が成就することになる。

また、佐久平の中央には、千曲川の清流が悠々と流れ新潟県で信濃川となり日本海に注がれる。日本一長い川の流れである。この河川敷（名称：千曲川スポーツ交流広場）を利用して五月の連休の間「子供たちに感動を」のメインテーマのもと、佐久バルーンフェスティバル（熱気球ホンダグランプリ公式戦）が開催され、今日では佐久の風物詩となって定着している。

気候・風向きに左右されるが、早朝より繰り広げられる色とりどりの気球の競技飛行は大勢の観客を魅了している。そして、同時期に「佐久鯉まつり」も開催される。佐久市は鯉の里でもある。

鯉は古から出世魚とされていることから、無病息災・子供の成長・立身出世など、鯉に関する様々なイベントが催されている。

この佐久鯉祭は市制誕生の二年後、昭和 38 年に市民祭がなかったことから、特産である鯉の宣伝普及を兼ね、市民の融和と発展の願いを込め開催されたと言われている。鯉料理も色々味わえ、甘露煮・あらい（刺身、酢味噌で）・鯉こく（味噌仕立て）等楽しめる。

味噌といえば、佐久市安原の安養寺は信州味噌発祥の地と言われている。鎌倉時代、覚心という僧侶が中国で学んだ味噌づくりの技術を広めたところ。この安養寺味噌を使って健康増進をはかりたいとご当地ラーメンが誕生した。

地元のラーメン店主がそれぞれ工夫をこらして、各店オリジナルの「安養寺ラーメン」として、現在、佐久市内 20 店舗で食することが出来る。是非鯉料理ともどもご賞味を。もうひとつ、信州そばもお忘れなく。

最後に信州佐久地方と言えば、日本でも有数の長寿の里としても知られている。佐久の住みやすい風土と千曲川の清流、そこで育った佐久鯉をはじめ、くだもの・野菜などの食物と、昔ながらの勤勉さ、信仰の深さが健康長寿の秘訣である。佐久市野沢の成田山薬師寺山門入り口に、「それはそれは」愛嬌のあるかわいらしい「びんころ地蔵」がある。参道は参拝客や地元のお年寄りなど多くの人でにぎわいを見せている。健康で長生きして（びんびん）、楽に大往生（ころり）を願って建立されたお地蔵さんである。

びんころ地蔵にあやかり（びんびん）（ころり）と願いたいものである。

【小栗 孝志】

◇ QCサークル活動

品質管理（QC：Quality Control）は、ウォルター・シューハート、エドワード・デミング、石川馨らにより第二次世界大戦後に構築されました。

不良品ゼロを目指すための品質管理活動として、1960 年ごろから製造業の現場に広く普及し、品質管理部や品質管理推進室が設置され組織的な推進が図られました。

そして、検査だけでは品質は保証できない、品質は工程が大切であるという考え方より製造部門だけでなく、購買・販売・サービス部門を巻き込んだ総合的品質管理という時代になってきました。

また、ここ数年の間には、この品質管理手法が医療の質と安全と患者満足度を高めるために最適な方法であるとも言われ、少しずつ病院等でも活動が始まっています。

『QCサークル』という言葉はみなさん聞いたことがあると思います。すでに、全国的に医療機関にも浸透してきています。『医療の改善活動－医療・看護・患者サービスの質の向上への取り組み』というワークショップも開かれ、改善活動事例が多数発表され、各施設で効果が出ています。

さて、ここで『QCサークル』はどんな活動なのか紹介します。

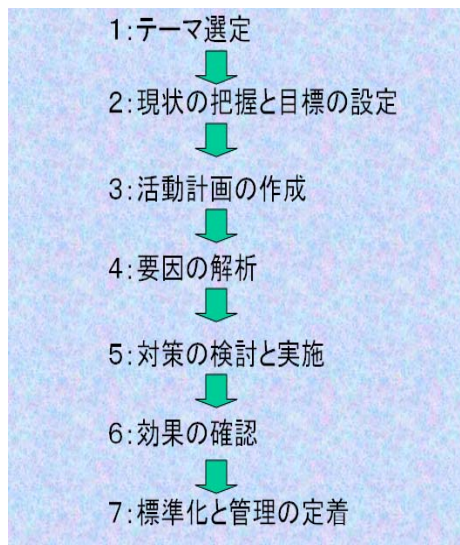
日本では、財団法人日本科学技術連盟が推奨している QC 活動があります。QC を実践する小集団活動が『QCサークル』です。第一線の職場で働く人々が集まり小グループで継続的に製品・サービス・仕事などの質の管理・改善を行うのです。取り組む期間は半年から長くて 1 年です。運営を自主的に行い、QC の考え方・手法などを活用し、創造性を発揮し、自己啓発・相互啓発をはかり活動を進めます。たとえば、「A 製品用金型の型欠け不具合撲滅への挑戦」「患者様の待ち時間短縮」「検査結果の遅れを減らそう」「糖尿病患者様の指導を充実させよう」など、さまざまな業種・職種が活動しており、この財団法人日本科学技術連盟の資料によると約 40,000 の業種・職種（医療機関含む）が登録して活動、外部発表しています。

この QCサークル活動の基本理念は、『人間の能力を発揮し、無限の可能性を引き出す。人間性を尊重して、生きがいのある明るい職場をつくる。企業の体質改善・発展に寄与する。』です。簡単にいうと自分のため、他人のためになっている活動です。QCサークルメンバーは、活動を通じて仕事に必要な知識や技術を勉強し身につけます。また、グループ活動ですから、リーダーになればリーダーシップも養われます。リーダーは、メンバーの意見を聞いたりまとめたり、QC手法

(記述)の使い方を教えたりという経験からリーダーシップ力を高めることになり。また、自主的な活動であり、上司からの命令でテーマを決め、取り組むわけではありません。自分たちで問題意識を持ち、「いかに職場を良くしようか」「問題を解決しようか」「患者様のために何が出来るか」と考え行動するのです。やりがい・働きがい・生きがいが一番感じるのは、このような自主的な考え方で自主的な行動が出来る時だと思います。また、モチベーションも上がり、サークルメンバーで 1 つのテーマに取り組むことは、コミュニケーションの向上にもなり、それが明るい職場つくりにつながります。

次に、具体的な活動内容ですが、小グループの人数は、QC サークルの大きさ、効果的に進めるためには一般的には 5~7 名程度が適当と言われています。これより多いと発言しない人、参画しない人が出てきます。

そして、進め方は、このサークルの活動のなかで事実・データに基づいて話し合ったこと、勉強したことなど、PDCA (計画・実施・チェック・処置) という 4 つのステップを確実にしながら、いろいろな手法を使って分析し改善をしていきます。手法には、問題の原因を追究して解決する「問題解決型」と、これからこのようにしたいという課題を達成するための「課題達成型」があります。



<問題解決の手順>

また、現象を数値的、定量的に分析するための技法として、QC七つ道具 (パレート図、特性要因図、層別、チェックシート、ヒストグラム、散布図、管理図・グラフ) があります。これらの道具を使い、見ただけで内容が理解できたり、道具をいくつか組み合わせることで使うことにより多くの問題に対処できます。

最後に、その内容をまとめて発表します。発表することにより、上司や他の職場の仲間にも認められることにもなります。これが、

自信とやる気につながり、活動がより一段と活性化していくわけです。

働く職場に期待されることに、品質向上、原価低減、効率化などの成果をあげることがあります。自ら考え、自ら学び、自ら行動するこのような QC 活動は有効な活動の一つではないでしょうか。

※ 参考文献：財団法人日本科学技術連盟「QC サークルの基本」

【相山 広美】

◇ 負けざる者たち・・・ インビクタス

学生時代にラグビーに魅了されて学生ラグビー、社会人ラグビー、壮年ラグビーと渡り歩いて 30 数年、遠くはフランス、アメリカ、ニュージーランドにまで試合に行きました・・・。

と自慢する割にはラグビーを始めた動機に若干の嘘があります。(笑)

大学に入学して、四国の田舎町から出て来た純粋無垢?な私は、恐持てラグビー部の先輩に「練習は月に 6 回くらい」、「女の子にもてる」「色々なコンパから誘われる」「試験問題の傾向や資料が手に入れ放題」「部の顧問の先生の教科は落第なし」と両脇から腕を掴まれ逃れないような体勢で、その半分以上が不純な内容の誘い文句に「まあ、断ると怖そうやし、グラウンドに練習風景を見に行く位なら」的な感覚でホイホイ乗って(騙されて)入部したのがラグビーとの出会いでした。

また体育会系の大学と違い医学系の大学の運動部であるから軟派な感じなんだろう。とタカを括っての入部でした。

しか〜し、そこに待っていたのは、練習は月では無く週に 6 回、残り 1 日は試合、色々なコンパからは誘われる。どころかラグビー部員と分かっただけで、ご遠慮願われる。女の子には雑巾を見るような目で見られ、全くもってない。

またチャラチャラした軟派なサークル活動を想像していたのは大間違いで、その地区の一般大学が参加するリーグ戦グループに医学系大学としてただ 1 校所属しており、ラグビーシーズンの秋から冬にかけては朝練習、夕練習の 1 日 2 回の練習まであり、**衛生学部ラグビー学科**と陰で囁かれるおまけ付きでした。

極めつけの夏合宿は人里離れた山中の合宿所でお盆から 8 月末まで収容隔離され、そこでのラグビー部 OB からのありがたい心のこもった練習は「ああ俺はここで死ぬんだなあ・・・」と遠ざかる意識の中で感じる地獄のような毎日が続くというものでした。

ではこんな思いをしてまでどうして続けたのか?それはラグビーという競技でしか味わえない精神性がある(に縛られるかもしれない)としか言えません。

スポーツの中で防具をつけず生身でボールを持っている人に強引にタックルし、押し倒してでもそれを奪って良いのはラグビーだけでしょう。それに耐える体を作る練習の毎日は、同じく甘言に騙されて?入部して来た劣等生ぞろいの同輩達との友情、顔は怖いが面倒見の良い先輩達との交流、自身の体の痛みと同時に相手の痛みを感じ取る感性の芽生えなど、そこには独特の優しさが培われます。部を辞めたい。と思うのは毎日ですが自分が抜けた後、部員不足の部の状態を思う責任感、2 年、3 年の経過と共に後輩もでき、苦勞を共有している部員を裏切れない。など人間として社会を生きて行くのに必須な感覚や考えが身に染み付きました。この事を 50 歳を過ぎた今、強く感じた映画を見ました。「インビクタス/負けざる者たち」という映画です。

「INVICTUS インビクタス」とはラテン語で征服されない、を意味するそうです。南アフリカの黒人初の大統領となったネルソン・マンデラが 27 年間にもおよぶ政治犯として、海の孤島に作られた刑務所に繋がれていた時に、彼が獄中生活で支えとしていた詩の題名が「インビクタス」です。英国の詩人アーネスト・ヘンリーの詩ですが、その長文の詩の最後に「門がいかに狭かろうと いかなる罰に苦しめられようと **私が我が運命の支配者 私が魂の指揮官**」これは、自分に降りかかる差別や偏見を運命とあきらめる事なく自分自身で人生を開拓していくという意味でしょう。

この詩を支えに永き獄中生活に耐えて後、民主選挙でマンデラが大統領になった当時、南アフリカは黒人大統領の誕生により、白人との対立が激化し国としての誇りを失いかけていました。また南アフリカラグビー代表チームの 40 人はスプリングボックスというチーム名で呼ばれそのほとんどが白人で占められていました。当時、チームは弱く、倒れた相手の顔をスパイクで腹いせに踏みつけるなど乱暴なプレイでラグビー界では嫌われ者。国民からは国の恥とまで言われており、南アフリカ国内の黒人は対戦チームがトライすると大喜びする有様でした。

南アフリカで開催が予定されていた第 3 回ラグビーワールドカップの 1 年前、白人キャプテン ピナールに黒人であるマンデラがこの誌の精神を吹き込みそれに感動し共鳴したことにより彼はチームの建て直しを計り、スプリングボックスはその大会で決勝戦まで駒を進めて、当時、世界最強とされていたニュージーランド代表オールブラックス(日本代表も本大会に出場し対戦して NZ145-17JPN という歴史的な大敗を喫し日本のラグビー熱が一気に冷めた)に勝って優勝(南ア 15-12NZ)した実話です。人種間対立はラグビーの大会で優勝して国が一つにまとま

のような単純な事ではないとか、スポーツを政治の場に持ち込み利用しただけ・・・などとする向きもあるでしょうが国民に感動を与え、その場だけかも知れませんが人種の垣根を越え国中がその出来事に歓喜したのです。これはサッカーや野球なども共通に持つスポーツという特性とも思いますが、加えて人と人がぶつかり合い血を流しながら戦うラグビーと言う競技から沸き立った感情であるとも言えるかもしれません。私がラグビー競技にこの年齢になっても身を置いているのは、こんな大袈裟な思いからではありません。自身単純！と苦笑もしますが映画の終盤、周りで私だけ涙を止めどなく流しながら見ている時には南アフリカの代表選手がチームとして利己ではなく国のまとまりを願う気持ちを根本に持ちながら、厳しい練習を積むその苦勞の何百分の 1 かが実感できた感覚があり、改めて自身の持つ精神性が、ラグーマンシップという型枠に深く埋められていることに気付かされた映画でした。ラグビー、仕事、技師会というフィールドで今まで良き後輩、同輩、先輩と交わりを持つことが出来たのも、このラグーマンシップを土台にした精神面から繋がりを得られたと感じます。

これからも仕事、技師会活動に無骨に正面からぶつかり、タックルで倒されても起き上がり、ある時は華麗な？ステップでかわしながら励みたいと思っています。それに「INVICTUS」の精神も加えて。入学シーズンです。

母校では「いい体格しているなあ！もっと女の子にもててみない！」と部への勧誘が今でも盛んに行われているのでしょうか・・・？



世界オールディーズラグビー試合後ウェリントン大会



世界オールディーズラグビー若手選手とサンデイエゴ大会

【土居 修】

◇ 昔も今も

京都には美しい竹林や紅葉のなかひっそりたたずむ寺院や庵が見られる嵯峨野、あるいは「♪・・・京都大原三千院恋に疲れた女が一人・・・♪」で有名な哀しい女人の歴史を思い出させる洛北大原等有名無名のお寺がいっぱいあります。

そして訪れる人々は心の平穏を願い、静かに首を垂れてただひたすら祈っている姿が TV 等で映っています。祈願の内容は良縁、安産、合格祈願、商売繁盛、交通安全、健康祈願、開運、厄除け・方除け、夫婦円満等ですが、昔から変わることなく今日まで続いています。

社会に生きる人間それぞれがいつも必要としている内容なのでしょうが、世の中が複雑になるにつれてこの祈願は絶えることはなく、むしろ増えていくことと思います。

私事で顧みると、大学受験時は合格祈願、その後は良縁祈願、現在では健康祈願へ移っていますが、神社仏閣にまいり祈願をすることは今も変わっておりません。

そこで、ここでは時と共に変わっていく世の中であって昔より変わらず続いている京都の夏の伝統行事祇園まつりと大文字送り火について紹介させていただきます。

まずは祇園まつりです。全国で夏祭りとして有名なものがありますが、京都での夏のまつりはやはり祇園まつりです。京都の三大祭りとして有名な春の葵まつり、夏の祇園まつり、秋の時代まつりの一つであり、また、大阪の天神祭、東京神田まつりと並び日本三大まつりに挙げられているものです。事の起こりは平安時代に疫病が流行したことを受け、今後流行しないようにと願って始まったまつりと言われていています。この祇園まつりの一番のハイライトはなんと言っても 7 月 17 日に行われる山鉾巡行です。32 基の山鉾が四条烏丸から長刀鉾を先頭にその年のくじで決まった順に従ってゆっくりゆっくりと山鉾が大勢の人たちによって牽かれていきます。途中、お稚児さんによるしめ縄切り、くじ通り巡行しているかどうかをみる「くじ改め」、四条河原町の角では青だけに水を垂らして表面を滑りやすくし、重い山鉾を一気に 90 度回転する「辻まわし」などどこで見ても楽しいものです。京都で生まれ育った人たち、特に山鉾町で生まれ育った人たちにとっては夏が来ると祇園祭の「コンコンチキチンコンチキチン」のお囃子に気持ちが高まります。また、調度この祇園まつりを境に京都では梅雨が明け本格的な夏がやってきます。近年は異常気象のせいなのか必ずしもそのようにはならなくなりましたが・・・。

一方、巡行の前の夜は宵山で四条通が

歩行者天国となり毎年の事ながら大変な混雑ぶりです。宵山ではどこの山鉾も提灯に火がはいり祇園囃子が賑やかに聞こえます。また、各町内の家では部屋に飾られた屏風を見ることができ、これも楽しみの一つです。

続いて大文字送り火です。これも NHK 全国ニュースでしばしば放映されますのでご存じの方もおられるかと思いますが。8 月 16 日夜京都を囲む五山に点火されます。まず、午後 8 時に点火する東山の如意ヶ岳の「大」(右大文字)、午後 8 時 10 分に松ヶ崎西山の「妙」、その東にある大黒天山の「法」、午後 8 時 15 分に西賀茂船山の「舟形」、京都市西部の大北山の「大」(左大文字)、そして最後に 8 時 20 分に北嵯峨水尾山の「鳥居型」がつぎつぎと点火されます。

この大文字の送り火は先祖や故人の霊が盆の期間各家に戻り、そして 16 日の夜に元に帰っていきます。そしてその際に火をともし迷わず帰って行くようにという意味を持っていると言われていています。その日の夜は京都市内では大文字送り火を見る人でどこも大変な人出です。

私の勤務先である府立医科大学附属病院からは大文字が間近に見えることから、患者さんやお見舞いの方々がそれぞれの想いで病室から見ておられます。

当日は危険ですので病院の屋上への出入りは禁止となっています。又、病院裏にある鴨川河川敷には大変多くの人が大文字の点火の瞬間をみるため集まります。京都市内では午後 8 時の点火に合わせて照明を下げるなど京都市民がこの行事に協力をしています。私は毎年鳥居型を見に行きます。近くの広沢の池には多くの灯籠が流され、近くの寺院からはご詠歌の響きが聞こえてきます。

その年に逝ってしまった人を想い、また先祖を想い点火されている間静かに手を合わせて迷わず無事に帰れるように祈っております。そして送り火を迎えると京都では秋を感じます。

祇園まつりが「動」であれば大文字送り火は「静」ですが昔も今も祈る気持ちは変わりません。

異常気象と言われる昨今ですが季節の移り変わりもそうありがたいものです。今まで変わらないで続いている事が今後も続いて欲しいと願っています。

【湯浅 宗一】

= 次号へ続く =



日臨技認定センター お知らせコーナー！

認定指定講習会、認定試験など認定に関するお知らせコーナーです。詳細はホームページをご覧ください。

◇ 認定心電検査技師認定資格更新 指定講習会

- 1) 主 催：和歌山県臨床衛生検査技師会
日 時：平成 22 年 5 月 21 日(金)16:00
会 場：神戸国際会議場 国際会議室
- 2) 主 催：埼玉県臨床検査技師会
日 時：平成 22 年 5 月 29 日(土)13:30
会 場：川口市立医療センター講堂

◇ 認定一般検査技師認定資格更新 指定講習会

- 3) 主 催：和歌山県臨床衛生検査技師会
日 時：平成 22 年 5 月 21 日(金)16:00
会 場：神戸国際会議場 国際会議室
- 1) 主 催：岐阜県臨床検査技師会
日 時：平成 22 年 6 月 20 日(日)10:00
会 場：ハートフルスクエア G

◇ 平成 21 年度 NST 研修会 終了

平成 21 年度 NST 研修会が、3 月 7 日(日)にチサンホテル心齋橋で開催された。受講者は 93 名であった。

◇ 検査研究部門からのお知らせ！ 平成 22 年度 移植検査部門生殖医療研修会についてのお詫びと訂正

医学検査 59 巻 3 号に掲載されました標記研修会について講師の変更がありました。関係者の方には御迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。訂正された研修会案内についてはホームページへ掲載しておりますのでご覧いただきますようお願いいたします。

また申し込み先の FAX 番号は次のとおりです。 申込先 篠ノ井総合病院検査科 金本淳 FAX：026-292-2294

編集室

- ◇ IT 革命は産業革命に匹敵すると言われます。
- ◇ 想えば、政府が平成 12 年 1 月 IT 基本法(高度情報通信ネットワーク社会形成基本法)に基づき、官民を挙げて IT 施策を推進する拠点としての IT 化時代に対応した IT 戦略本部(高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部)を設置しました。その IT 戦略会議により、全ての国民が積極的に IT を活用しその恩恵を最大限に享受出来る知識創発的社会の実現に向けて、革新的・現実的な対応を行うべく、民間が最大限に活力を発揮出来る競争原理に基づく環境整備を 5 年以内に実現し、世界最先端の IT 国家を目指すと言う目標を掲げました。その重点計画によると、情報通信の利用面において格差が生じ、社会的経済的格差に繋がる恐れがあることから、国民全てが情報通信の利便を享受出来る「情報バリアフリー」の環境整備を推進するとしていました。
- ◇ 21 世紀、人類全体の物質的に豊かな世界をめざし、地球規模でのグローバリゼーションに取り組みねばならない社会的・経済的必要性が叫ばれる中であっては遅すぎた決定と言わざるを得ないでしょう。
- ◇ すでに 10 年を経過しようとしています。この計画の何%が実現したのでしょうか。
- ◇ 更に、翌平成 13 年 8 月には「保健医療分野の情報化に向けて」の第一次提言がなされました。民間主導の考え方のもと、学会をはじめとする医療関係団体も、産業界との共同を含みその役割の範囲において主体的に情報化を推進し、医療の質の向上・医療の効率的提供に取り組まねばならない事とし、その第 1 次提言は、①高度情報通信ネットワークの世界水準形成、②教育・学習の振興及び人材の育成、③商取引等電子化の推進、④行政情報化・公共分野の情報通信技術の活用・推進、⑤高度情報通信ネットワークの安全性・信頼性の確保、から構成されていました
- ◇ 保健医療の情報化により、医療サービスの向上や医療提供の効率化が進むと考えられました。自宅での受診医療機関の選択や情報の享受、遠隔医療の提供における在宅医療の普及、専門医療を提供する医療機関と地域医療機関との連携による画像をはじめとする検査結果の共有化、電子カルテ等の普及によるインフォームドコンセントの促進等、今後益々増加が予想される生活習慣病に対する患者自身の積極的な治療への参加が期待されていました。更に、医療機関の診療情報、検査情報等の共有化による医療事故に対する安全性の確保、医事業務の効率化等による経営改善等でありました。
- ◇ 情報化社会においては、その基盤の整備もまた重要な要素であり、医学情報の標準化、制度の改革、検査情報等の格差是正、人材の育成、経済的基盤の整備等が要求される。検査業界においても、自己中心的な IT 化は単なる情報技術の行使に過ぎません。
- ◇ これこそ検査技師の将来に向けて避けなければならない事であることは誰もが知っていることです。
- ◇ 基本とすべきは各自が医療人としてのグローバリゼーションの精神を持ち将来を見据えた全体像を把握する事が将来に向け重要であると考えます。グローバリゼーションの最も大切な事は寛容に基づく行動であり「<他者に>耳を傾ける・<他者を>受け入れる・<他者により>自分の意見を改める」ものであります。
- ◇ スーパーコンピューターは、「何故、1 番でなければならないのか? 2 番では駄目なのですか……」等という事業仕分を行うようでは、遅すぎる選択に加えて、取り残される選択を追加していることではないでしょうか……テレビ報道によると、10 年経過した成果として、わが国のスーパーコンピューターは、世界で 31 番目だそうです。
- ◇ スーパーコンピューターだけではなくありません。何事も、1 番を目指す姿勢が重要で、そうでなければ何の意味もないのです。
- ◇ オリンピックの目標は「金メダル」しかないのです。税金を使って、「入賞することが目標です」、「楽しく参加しました」等と堂々と答える人の気がしれません。これでは、スポーツマンとは言えないでしょう。
- ◇ オリンピックと同じで、技師会も「理事になること」ではありません……「これから勉強します」では組織は続きません。学問をするなら、学を修める的確な場所を選択することが望ましいことです。
- ◇ IT 社会に相応しく、「ヒューマンネットワーク」の構築と充実が重要な事と考えます。臨床検査の一筋の道を創り上げる事が、検査技師の組織としての活動理念と考えますが、如何でしょう。

【高田】